


所属長	所属科長	事務(局/部)長
		

令和4年 4月 5日



理事長 殿

学 長 殿

令和3年度“オール近大”新型コロナウイルス感染症
対策支援プロジェクト研究報告書

標記の件につきまして、別紙のとおり報告いたします。

また、本研究報告の内容は、近畿大学学術情報リポジトリ (KURepo) に公開する旨、承諾いたします。

1. カテゴリー	<input checked="" type="checkbox"/> 研究 <input type="checkbox"/> 開発・提案 /カテゴリーNo <u>25</u>
2. 企画題目	DXによるデジタル・ラーニングモデル構築研究 –「デザイン」活用による PBL、デジタル・コンテンツ、電子書籍を活用した学習ログ活用領域からのアプローチ

研究代表者

所 属 : 経営学部 商学科

職・氏名 : 教授 廣田章光 

令和3年度“オール近大”新型コロナウイルス感染症 対策支援プロジェクト研究報告書

企画題目	DXによるデジタル・ラーニングモデル構築研究－「デザイン」活用によるPBL、デジタル・コンテンツ、電子書籍を活用した学習ログ活用領域からのアプローチ
研究者所属・氏名	研究代表者：廣田章光 共同研究者：布施匡章、名瀬浩史、峯尾圭

1. 研究、開発・提案 目的及び内容

教育のDXの1つとしてオンラインによる教育は2020年度において急速に普及した。しかしながら、対面講義をオンラインに置き換えた状況から大きく抜け出していない。そのような状況を改善し、教育のDXに向け、以下の3領域における、デジタル・ラーニングモデルを構築する。

- 1) PBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）のデジタル教育・学習モデル
 - 2) DXを理解するためのアクティブ・ラーニング型動画教材制作モデル
- を構築することが本プロジェクトの目的となる。

2. 研究、開発・提案 経過及び成果

1) PBL（プロジェクト・ベースド・ラーニング）のデジタル・ラーニングモデルの構築
オンライン教育では限界のあったPBLについてデジタル技術を活用した教育・学習モデルを開発する。プロジェクトの対象としてコロナ禍で大きな影響を受けている観光・サービス産業を企業（カトープレジャーグループと連携して実施した。

カトープレジャーグループと連携し、若年層の都市型クルーズの紹介する動画を学生が制作。学生が取材を行い、運用スタッフにインタビュー、自ら体験しながら紹介スポットを設定した。その後、個々の紹介スポットについて撮影取材を行い編集を行った。コロナ禍で活動制約の多い活動だったが、カトープレジャーグループからは高い評価を頂き、同時に、学生のマーケティング、動画編集の質の高さが評価され、水都大阪が主催する、水都大阪フォト&動画コンテストで最優秀賞、優秀賞を獲得した。

●受賞掲載、ニュースリリース

<https://www.suito-osaka.jp/special/contest/2021/result.html>

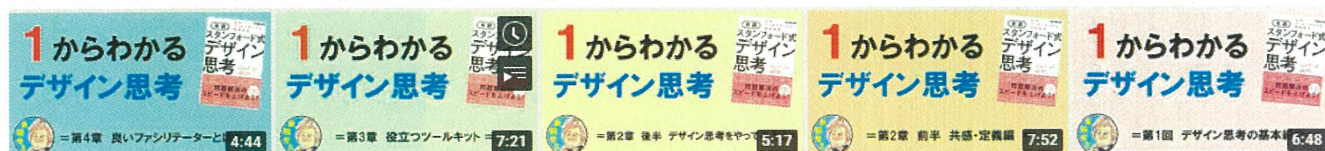
<https://www.kindai.ac.jp/business/news/topics/2022/01/034728.html>

2) DXを理解するためのアクティブ・ラーニング型動画教材制作モデルの構築

DXを理解するためDX実践者のオンラインによる講演の実施（全学公開）し、教員による理論解説を記録しうる。その上で、学生による産業テーマ別DX動画の作成を教員監修のもと行う動画制作を通じたアクティブ・ラーニングモデル構築につなげる。

デザイン学習用の10分程度の動画コンテンツ42にタイトルを制作し、YouTubeチャンネルとして公開した。

<https://www.youtube.com/channel/UCtULoJRbsaTkTpS9kTsTkGg/videos>



制作は学生が行い監修を教員が実施した。動画制作を通じた学習ツールとして、対象領域のより深い理解と学習対象者の知識水準、関心にあわせた情報構成や情報水準を理解促進につなげた。また開発した動画教材は、アカデミックシアターなどの学生によるデザイン思考レクチャー講義などのイベントとして活用している

3. 本研究と関連した今後の研究、開発・提案 計画

動画教材および動画を活用した学習効果に関する目処がついたので、今後は動画を活用した、コロナ禍で打撃を受けている観光産業、飲食産業、農業などの分野での動画を活用したコンテンツ発掘、発信を組み込んだマーケティング提案を行う。本学の実学教育の1つのモデルとして継続的な展開を目指したい。

また、オンライン講義や演習におけるアバターを使った、コミュニケーションシステムを活用することで、オンライン学習の弱点である同一空間に参加する人々のネット上でのコミュニケーションのあり方について実証を行う。この成果は、メタバース（米国メタ社）の活用と教育、コミュニティへの活用につなげたい。

4. 研究成果の発表等

発表機関名	種類(著書・雑誌・口頭)	発表年月日(予定を含む)
碩学会	1からのブランド経営(編著書)	2021年5月
日本政策金融公庫	調査月報151(雑誌)	2021年4月
日本商業学会	第71回全国研究大会報告論集(雑誌)	2021年5月
認知科学学会	第38回大会論文集(雑誌)	2021年9月
近畿大学 経営学部(廣田)	商経学叢(雑誌)	2021年12月
近畿大学 経営学部(峯尾)	商経学叢(雑誌)	2021年12月
近畿大学 経営イノベーション研究所	創立10周年記念論文集(雑誌)	2022年3月
日本商業学会	第71回全国研究大会(口頭)	2021年5月
日本商業学会	関西部会(口頭)	2021年9月
日本認知科学学会	第38回大会	2021年9月
British Academy of Management (BAM)	BAM 2021 Conference(口頭)	2021年9月
食生活研究会	第29回「食と健康」講演会(口頭)	2021年9月
Advances in Advertising Research	Advances in Advertising Research(雑誌)	2021年9月
日本マーケティング学会	春のリサプロ祭(口頭)	2022年3月

5. 研究、開発・提案 課題の成果発表等

カトープレジャーグループとの制作動画の水都大阪コンソーシアム動画&フォトコンテンツと最優秀賞、優秀賞受賞

<https://www.suito-osaka.jp/special/contest/2021/result.html>

<https://www.kindai.ac.jp/business/news/topics/2022/01/034728.html>

デザイン学習用動画コンテンツ42にタイトルのYouTubeチャンネルとして公開。

<https://www.youtube.com/channel/UCtULoJRbsaTkTpS9kTsTkGg/videos>